香川県高等学校体育連盟ラグビー専門部

大会開催にあたっての安全対策ガイドライン（ラグビー）

１　大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、選手を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合は、十分な感染防止対策を行う。ただし、全国や県内の感染状況に応じて、大会中止を決定する場合がある。

（１）顧問は必ず、参加選手から大会参加の承諾書を取り、学校長の責任のもとに申し込みを行う。大会参加を強要することがないよう配慮する。承諾書は各校顧問が保管する。

（２）大会への参加についての具体的な対応

　　　①チーム関係者（大会参加申込書に記載されている選手・引率者。以下同様）に、新型コロナウイルス感染症陽性者が出た場合

　　　　→チームの大会出場を認めない。

　　　②チーム関係者が新型コロナウイルス感染症陽性者の濃厚接触者（または接触者）に特定された場合（ＰＣＲ検査を受けることになった場合）

　　　　→ＰＣＲ検査の結果が判明するまでは、チームの出場を認めない。その結果が陽性であった場合は①の対応となる。陰性であった場合は、保健所からの待機指示が解除されるまではその選手の大会出場は認めないが、チームの大会出場については、学校長の判断に委ねる。

　　　③所属校の生徒に、新型コロナウイルス感染症陽性者が確認される等、大会当日に休校措置等がとられている場合

　　　　→チームの大会出場については、学校長の判断に委ねる。

　　　④チーム関係者に、大会前２週間以内に発熱等の症状が見られた場合

　　　　→必ず病院を受診し、新型コロナウイルスの感染ではなく、風邪等の症状である診断を受けた場合のみ、大会出場を認めるが、チームおよびその選手の大会出場については、学校長の判断に委ねる。

　　　⑤大会当日、発熱等の症状が見られる選手がいた場合

　　　　→その選手の大会出場を認めない。ただし、チームの大会出場については、学校長の判断に委ねる。

　　　⑥大会期間中、急に症状が出た場合は上記と同様の措置をとること。引率者は保護者および各学校の管理職に報告し、帰宅させる。

　　　⑦大会期間中、引率責任者は選手等の健康観察を徹底すること。

２　大会中の具体的な感染防止対策

（１）参加する選手及びマネージャー、顧問、引率者、役員、レフリーは、試合当日に必ず検温を行う。

（２）観客（自チームの観戦のみ可能とする）は、原則として選手の保護者（２人程度）・学校関係者（数名程度）とし、本部に保護者参加者名簿を学校毎に提出すること。なお、部員の保護者・学校関係者の人数については、各チーム５０名までとする。入場時には必ず本部の健康チェックを受けマスクを着用して入場すること。観客席は密を避けるため、スペースを空けて着席し、大声での応援はせず拍手での応援を基本とする。試合終了後は速やかに退出すること。（入場は試合開始１０分前からとする）

（３）報道関係者等は、来場者健康チェックシートを本部に提出すること。

（４）開閉会式は実施しない。（表彰式のみ行う。）

　　　試合時間変更→１１月７日（日）第一試合13：15→**13：00開始に変更**

|  |
| --- |
| 参加各校の先生へ（確認事項）  一回戦：１１月７日（日）、決勝戦：１１月１４日（日）  ◎「保護者参加者名簿」は、グランド到着時に山本まで提出  ※上記に名前の無い方は入場できない  ◎「大会参加承諾書」は、検温等記入させた後、各校顧問へ提出  ※各校顧問は、大会終了後２週間保管すること  ◎ウォーター係・ティー係等は、大会参加申込書に記載されている選手・引率者および  　セーフティーアシスタントで行うこと  　　　※ＯＢ・保護者等が、グランドに入らないように各チーム周知徹底すること |